

那須塩原市再生可能エネルギー導入促進に向けたゾーニング事業
地域説明会で頂いたご意見・ご質問

<那須塩原駅西口>	
日時：2023年11月20日 18:30～20:00	
会場：東那須野公民館	
参加人数：5名	
配布資料：PPT説明資料、大判図面	
1. ゾーニング事業全体に関するご意見	
<ul style="list-style-type: none">・ この地域は風がとても強いので、風力など太陽光以外の再エネ資源も活用してほしい。・ 水力発電を推進するのがいいと思う。既に小さい水車を設置して発電している人もいる。・ まずは屋根設置型太陽光発電から進めていくのが理想である。学校などの公共施設に優先的に設置してほしい。	
2. エリア条件や配慮事項の条件に関するご意見	
<ul style="list-style-type: none">・ 太陽光発電ではパネルの寿命と後処理のことまで考えてほしい。・ 最近は異常気象が多いので、パネルを置いたところで雹が降ってパネルが割れるなどの被害がないか不安である。	
3. 地域貢献策や促進区域に関するご意見	
<ul style="list-style-type: none">・ 電気自動車はいいと思うが、結局は自宅の使用電力量が増え、電気代が高くなる。公共の充電ポートがあるとよい。・ 非常電源など、災害時に備えていても、久々に使うと動かないといった問題がよく起こる。非常時だけでなく、日ごろから利用できる仕組みがあると良い。・ 現状、この地域には屋根付きの駐車場はない。	
4. その他ご意見・質問	
<ul style="list-style-type: none">・ 個人宅への太陽光パネル導入は、新築時に導入していくような条例があるとよい。東京都ではハウスメーカーにパネルの設置義務づけている。・ 現段階で屋根にパネルをつけていない人は今後もつけないのではないかと。「電気料金が上がったから太陽光パネルを設置しよう」という考えにはならない。・ 市で再エネの導入を推進しても、個人宅にパネルを置くことに直接つながると思えない。・ 現状、一般住宅でパネル導入する場合の補助金はあるのか。・ 現状、EVを導入した場合の補助金はあるのか。	

- ・ 市の新庁舎に導入する太陽光パネルはどのくらいの規模の予定か。
- ・ 近年は人手不足もあり、農地を継続していくのも困難となっている。農地はどんどん住宅に転用されている。
- ・ 那須疏水を利用した水力発電は、今後、追加で設置する計画などあるのか。
- ・ 平地でも風が強いので、自宅の庭にも置けるような小さい風車があるといい。

<鍋掛>	
日 時	2023年11月25日 18:30~20:00
会 場	鍋掛公民館
参加人数	3名
配布資料	PPT説明資料、大判図面
1. ゾーニング事業全体に関するご意見	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光発電であれば、まずは屋根上への設置から検討すべきである。 ・ 那須塩原市は酪農が盛んなのでメタンガスを利用したバイオガス発電も実施してはどうか。 ・ 導入可能性のある場所として、小さい面積しか出ていないが、実際にこのような場所に事業者は入ってくるのか疑問である。
2. エリア条件や配慮事項の条件に関するご意見	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人的には山林を伐採しての設置には反対である。 ・ 赤坂にある導入可能性エリアは、時々地域行事などで使用している。
3. 地域貢献策や促進区域に関するご意見	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ FIT 制度が終了したことにより個人で太陽光パネルを設置するメリットが減った。このような中でも個人に儲けが出るような仕組みや、蓄電システムがあるといい。 ・ 野間地域の酪農施設は、太陽光発電やバイオガス発電を前向きに検討していると聞いている。 ・ バイオマス発電を実施するのであれば発電に依存することなく、酪農との両立を前提に実施しないと持続しないと思う。 ・ バイオガス発電は酪農家が個人で実施するには初期投資が大きすぎて難しい。企業・農協・農家事業者などとの連携が必要である。JA や農協、市役所が中心となりコーディネートしていかないと進まない。 ・ 鍋掛は公共施設や工場などが分散しており、電気を運ぶとなるとロスが大きいと思う。地域内で発電して消費するのであれば、プラントとなる場所を設定することが重要と感じる。
4. その他ご意見・質問	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカや中国など、大きな国が本気で進めないとゼロカーボンの実現は難しいと思う。ただ、小さな市町村であっても、できることからコツコツ取り組んでいくことが大切。 ・ この地域で農業をする人は高齢の方が多く、個人で営農型のような新たな取り組みに踏み出すのは難しいと感じる。

- ・ この地域の耕作地は水田がほとんどだったが、最近が高齢化や担い手不足の問題から牧草に替わってきている。

<四区町>	
日 時：2023年11月21日 18:30～20:00	
会 場：那須塩原市西公民館	
参加人数：5人	
配布資料：PPT説明資料、那須野が原みらい電力のご紹介、大判図面	
1. ゾーニング事業全体に関するご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木県の再エネ導入実績はすでに目標値を上回ったようだが、全体の9割が太陽光発電と聞いた。ゼロカーボンには太陽光発電が近道なのではないか。 ・ 再エネに関する住民の理解促進が重要ではないか。この地域説明会も参加者が少ないため、もっとPRすべきである。 ・ 再生可能エネルギーの導入が必要なことは理解しているが、地元住民としてどのように参画してよいか、参画できるのかがわからない。 ・ 太陽光パネルを置きたくても、保全エリア部分では現状は法律（特に農地法）により導入が規制されている。今後、ゼロカーボンを進めるのであれば法改正も検討しないと使いたいのに使えない場所がなくなる。 ・ 保全エリアの地権者は再エネの導入にどのように協力できるのかイメージがわからない。 	
2. エリア条件や配慮事項の条件に関するご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 休耕地で発電をしたくても第1種・第2種農地であることが障壁となっている。 	
3. 地域貢献策や促進区域に関するご意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 調整エリアに該当する地権者を集めた説明会を実施した方が早く進むと思う。再エネ導入の意向についてアンケート調査を実施するのもよいと思う。 ・ 地域への再エネ導入を「誰と」進めるのかも重要と感じる。 ・ 高齢化に加え、最近では米を作っても利益が出ないといった現状から、四区町には遊休農地が多く存在している。このような土地はぜひ有効活用してほしい。 	
4. その他ご意見・質問	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自宅に太陽光パネルを設置しませんか」という営業が来る。この業者と契約した場合、電力の地産地消にはならないのか。 ・ 那須塩原の特色である酪農を利用したバイオマス発電は可能性としてあるのか。やはりにおいの問題は大きいのか。 ・ 水力発電は設備利用率が高く効率が良いが、水の少ない冬の時期はどうするのか。 ・ 地域新電力の活動に土地改良区も協力しているのか。 ・ 発電施設への出資はだれがするのか。 	

